愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	プレゼンテーション技術		
担当者(Instructors)	安藤 真澄	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択
			実務家教員科目(Pro teacher course)

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

【考える力×伝える力を学ぶ】 この講義ではプレゼンテーションを行う際の説得力のある論理の構築方法、パワーポイントを使用する際のスライド作成の技術、スピーチによるプレゼンテーションのコツについて実践的に学びます。課題についてパワーポイントを作成し、口頭でプレゼンテーションをして貰います。スライドの書き方、図表の使い方、話し方、視線の向け方等について、実際の発表を見ながら指摘して、ノウハウを共有します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	プレゼンテーションの事例を見て、課題に回答してもらいます。また、課題についてワードやパワーポイントでプレゼン資料を作成します。さらに、口頭でプレゼンテーションを行ってもらいますので、スマートホン、パソコンを授業に毎回持参してください。
当該科目と実務との関係(Relationship between cource and practice)	広告会社では企画コンペにおいてプレゼンテーションの出来不出来がビジネス獲得に直結します。国内外で数多くのプレゼンテーションを経験する中で、基本的な知識を身につけ、訓練をすることでプレゼンテーションの出来栄えが変わることを痛感しています。本講義では上手なプレゼンのテクニックを解説し、それを踏まえたプレゼン資料を作成します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション	講師略歴紹介、授業の狙いと進め方、読むべき文献や見るべきコンテンツの紹介	□
第2回	プレゼンテーションとはなにか	提案の技術とは何か	□
第3回	プレゼンテーションの構成	プレゼンストーリーの作り方	□
第4回	プレゼンテーションの参考事例①	YouTube等の映像を使って、説得力のあるプレゼンテーション事例を学ぶ	□
第5回	プレゼンテーションの参考事例②	YouTube等の映像を使って、説得力のあるプレゼンテーション事例を学ぶ	□
第6回	課題①自己紹介をパワーポイントを使っておこなう	自己紹介のスライドを作成する。ネット上の写真や図表を使用しても良い。自分はどんな人間であるか、どのように見て貰いたいかをプレゼンする。スライドを使って、一人3－5分程度のプレゼンを行う。 逐次、講評する。	□
第7回	課題①自己紹介をパワーポイントを使っておこなう	自己紹介のスライドを作成する。ネット上の写真や図表を使用しても良い。自分はどんな人間であるか、どのように見て貰いたいかをプレゼンする。スライドを使って、一人3－5分程度のプレゼンを行う。 逐次、講評する。	□
第8回	課題①自己紹介をパワーポイントを使っておこなう	自己紹介のスライドを作成する。ネット上の写真や図表を使用しても良い。自分はどんな人間であるか、どのように見て貰いたいかをプレゼンする。スライドを使って、一人3－5分程度のプレゼンを行う。 逐次、講評する。	□
第9回	効果的なプレゼンテクニック ①	スライド制作のコツ	□
第10回	効果的なプレゼンテクニック ②	スライド制作のコツ	□
第11回	効果的なプレゼンテクニック ③	口頭プレゼンでのコツ	□

第12回	課題②与えられた課題のプレゼンテーション	課題について、パワーポイントを使用し、プレゼン資料を作成する。課題の整理、アイディアの提案、なぜそのアイディアが適切なのか等の理由の明記、結論といった流れで論理的にスライドを作成し、口頭で、5分程度のプレゼンテーションをおこなう。	□
第13回	課題②与えられた課題のプレゼンテーション	同上	□
第14回	課題②与えられた課題のプレゼンテーション	同上	□
第15回	まとめ	全体の振り返りとまとめ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

参考図書に載っているプレゼンのヒントやプレゼン映像で示唆されるヒントを理解する（2時間）。授業で提示されたプレゼン事例のポイントを確認して、自分でもやってみる(2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題①と課題②については適宜、講評します。それ以外に出された課題については次の授業でコメントします。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題について的確に判断し、自在に表現、発信することができる。パワーポイントを活用した説得力のある口頭プレゼンテーションができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			80%	20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

課題と２回のプレゼンテーション、および授業への参加姿勢等で総合的に評価を行います。
授業時間中に告知するパスワードにより、TOPOSへの出席登録を行うことで出席とします。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし 授業中で使用するスライドを参照してください。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	高田貴久『ロジカル・プレゼンテーション　自分の考えを効果的に伝える戦略コンサルタントの「提案の技術」』英治出版、2004年	978-4901234436
2	藤倉礼亜『プレゼンの大学』クロスメディア・パブリッシング、2022年	978-4-295-40693-8
3	前田兼利『社内プレゼンの資料作成技術【完全版】』ダイヤモンド社、2022年	978-4478115152
4		
5		